



# ありがとうを真ん中に

山田 菜々子

(八峰町地域おこし協力隊)

## 1 八峰町の地域おこし協力隊になるまで

はじめまして。八峰町地域おこし協力隊の山田菜々子です。出身は秋田県能代市です。高校卒業後に上京し、移住前は、神奈川県横浜市で暮らしていました。夫も同じく能代市出身で、私は秋田が大好きなので、「いつか地元に戻ろうよ」そう夫に話し、お互いに「いつかは…」という気持ちがありました。

娘が生まれ、自然豊かな場所でのびのびと大きく育ててほしいという気持ちが増していく中、娘の幼稚園入園と同時にコロナ禍が始まりました。

コロナが流行し始めた当時は、感染することへの恐怖心がとても強く、まだ幼い娘にマスクの着用や様々な我慢を強いる日々が続きました。そんなある日、娘の髪の毛をとかしている時に白髪が1本あるのを見つけたんです。「幼いながらに強いストレスを感じていたのかもしれない」と、すぐに秋田の求人調べては夫にこんな仕事があるよと、何度も相談しました。

そんなある時、八峰町の地域おこし協力隊の募集が目にとまりました。募集内容は、農林振興課で生薬に携わること。元々自然が大好きな夫は興味を持ち、すぐに八峰町役場に連絡を入れました。ひよんなことから私も一緒に採用して頂けることになり、2022年9月に着任し、現在に至ります。

## 2 八峰町での暮らし

「移住して良かったことは？」協力隊として

働き始めてからよく聞かれる質問なのですが、「娘にこの八峰町の美しい自然の景色、春夏秋冬を五感で感じてもらえること」が答えです。

移住前は空を見上げても、高いビルやマンションが立ち並び、空が真っ暗で狭く感じられ、星を見ることができなかつたのですが、八峰町では、紺色、藍色の夜空に黄色や白に光る星や月をはっきりと見ることができます。

遮るものなく広がった空や、海に沈む夕日は本当に美しく、そんな景色を見ていると、自分の心のもやもやが、とてもちっぽけなことのよう思われてきます。

このような八峰町の恵まれた自然、美しい空気の中で子育てができることをとても幸せに感じています。

また、移住前は設計士として働き、毎日のように残業続きの生活をしてきた夫でしたが、八峰町で暮らすうちにどんどん表情が明るくなりました。きっと八峰町の暮らしが合っていたのだと思います。そんな夫を見ると、移住は大きな決断でしたが、間違っていなかったと自信をもって言えます。

新しい家族も増えました。実家で幼いころから秋田犬と共に育った私。移住したら「秋田犬を家族に！」と決めていました。移住して1か月経った頃、ちょうど良いタイミングで秋田犬の男の子を迎えることができました。名前は「ちゃたろう」、この春に3歳になります。とても大事な家族です。



(大好きな八森の鹿の浦展望台からの日本海)



(我が家のめんちょこ、ちゃたろうです!)

### 3 あたたかい町の方々

美しい自然や景色が八峰町の魅力ですが、一番の魅力は町の方々だと思っています。

八峰町には私の妹家族が暮らしていて、それだけでもとても心強いのですが、妹家族以外に頼れる人がいない町に引っ越すということに不安な気持ちもありました。

ところが、ヨソからきた私たち家族に温かく声をかけてくれる方がたくさんいました。もちろん待つのではなく、こちらから積極的に挨拶をしたり、町の行事に参加する中で、どんどん顔と名前を覚えてもらえ、移住して1年が過ぎた今では、ヨソから来た人というお客さん扱いではなく、世間話をしたり、娘やちゃたろうを可愛がってくれる方がたくさんいます。ちゃんと八峰町の暮らしになじめていると実感することができています。

移住に対し不安な気持ちを持っていた当時の

私に、「その決断は間違っていない、大正解だよ!」と言ってあげたいくらいです。

そんな町の方々が八峰町の一番の魅力だと感じています。



(白瀑神社の例大祭)

### 4 八峰町の生薬

協力隊としての活動は、八峰町の生薬のPRと販路拡大が主な業務内容となっています。生薬という言葉は耳にしたことがありますが、具体的なことはよく分からないまま飛び込んでみました。

着任後、まず初めに関わったのがカミツレでした。カミツレというとピンとこない方が多いかもしれませんが、カモミールのことで、生薬名になるとカミツレというそうです。元々ハーブティーが好きでしたのでカモミールティーにはなじみがあったものの、あの真っ白で真ん中がぷっくり黄色の小さな花が、龍角散の商品の原材料の一部となっていることは初めて知りました。

その後関わったのが、キキョウです。キキョウといえば紫の星のようなカタチをしているお盆などによく見る花ですが、生薬として使われるのは、花の部分ではなく根の部分です。こちらもカミツレ同様、龍角散の商品の原材料の一部となっています。

八峰町ではこのカミツレ、キキョウの生産に力を入れているのですが、イベント出店などで

町外に行くと、生薬以前に八峰町を知らない、何と読むのか分からないという方がいました。まずは、八峰町を知ってもらう必要があると感じ、生薬のPRは同時に八峰町のPRにも繋がると思い、SNSでは生薬関連の投稿だけでなく、実際に移住してきた自分が、八峰町での暮らしを楽しむ様子も多く載せています。

業務内容だけでなく、日々の暮らしの中で見つけた美しい景色や、何でもない普段の生活の様子。日記のような投稿もします。

きっかけは何でもいいと思うんです。「八峰町ってこんなところなんだ」、「こんなきれいな景色が見られるんだ」そんなふうになんかちょっとでも八峰町に興味を持ってくれる方が増え、それから生薬についても関心を持ってもらえたらいいなと思っています。



(満開のカモミール)



(キキョウの花と生薬として使用する根っこの部分)

## 5 やっほ～farm

ここ八峰町に来て出会えた大切な仲間がいます。同じ八峰町の協力隊の2人とともに、現在「やっほ～farm」として活動しています。

はじまりは2023年春。せっかくこんなに自然豊かなところに住んでいるのだから、「自分たちで野菜を育てて食べたい」、「きっと自分たちで育てた野菜はおいしいよね!」というとても単純な理由から、町が町民に貸し出している小さな農園を借り、「やっほ～farm」と名付け、野菜作りを始めました。

土を耕した時、ふかふかで驚いたこと。種まきをしてちゃんと芽が出るか心配したこと。芽が出て喜び、収穫して自分たちの野菜を食べられて嬉しかったこと。刈っても刈ってもすぐにびよ～んと伸びる雑草たち。夏は暑くて2リットルの飲み物がすぐになくなり、絞れるほどの汗をかいたこと。

初めてだらけの毎日は、どれもとても楽しくて、協力隊が終わったらこのやっほ～もおしまいな、と考えてはさみしさを感じていました。

2023年8月、3人で話し「やっほ～farm」を会社にすることに決め、協力隊退任後からスタートできるよう動いています。

ずっと業務として関わってきたカミツレをはじめとした八峰町の生薬にはたくさんの方が可能性があるとと思っています。そしてせっかく携われたこのご縁を大切にしたい、という思いから、カミツレを中心とした生薬を使った商品などを考えています。

今は県内のイベントに出店してカモミールティーの販売をしています。ここから徐々に大きくなれるよう頑張ります。そして、この「頑張りたい」と思えるような気持ちにさせてくれる環境に私は感謝しています。

八峰町に来るまでは、部活動に一生懸命な学生や、運動会や文化祭でひとつのことに向かって一生懸命に練習・準備をしている子どもたちを見ると、「私にもあんな時があったな」と懐かしい気持ちになると同時に、大人になった今、そんな真っ直ぐで一生懸命な気持ちはもう味わえないのだろうと思っていました。

しかし今、「やっほ～farm」に一生懸命な気持ちで向き合うことができている。

このように思えるのは、力を貸してくださる方たち、応援してくれる方たち、仕事をさせてくれる家族と、側にいてくれる仲間のお陰です。

ずっと大事にしている、まずは自分が楽しむ気持ちを忘れず、素直に「ありがとう」を真ん中に置きながら、頂いた優しさ以上のものを返せるように頑張りたいと思っていますので、読んで下さった皆様にも見守ってもらえれば幸いです。



(とってもだいすきな場所です)



(イベント出店時の様子と  
やっほ～farmのカモミールティー)

## 6 さいごに

ここまで読んでいただきありがとうございます。この文章を通して八峰町のこと、生菓のことが少しでも届けば嬉しいです。

そしてぜひ一度、ドライブがてら八峰町に遊びに来てください。

町の方は「なんにもない」と言いますが、私はそうは思いません。確かに都会にあるような大きなビルや商業施設はありません。そのかわり、八峰町にしかないものだってたくさんあります。

ぜひそれを見つけにきてください。きっと帰るころには八峰町のことが好きになっていると思います。

私もそのひとりです。

### <担当者から一言>

八峰町では令和6年3月1日現在、定住・移住コンシェルジュが2名、農業推進コンシェルジュが2名の計4名が、地域おこし協力隊として活動しています。

隊員それぞれが、自らのミッションと共に、八峰町のために様々な活動をしています。

良い意味での「そと」からの視点で、地域住民が当たり前すぎて気付かない町の魅力を発信することで、町に新しい風を吹き込んでくれています。

隊員が使っている「絶好調！八峰町！」を合言葉に、老若男女問わず活気あふれるまちづくりのため、今後も、隊員・地域住民と共に、魅力あるまちづくりに努めてまいります。

(八峰町企画財政課広報企画係

田村英里子)